

文 月

Kid's☆garden



ソロキャンプYouTuberで最近異色の再ブレイクを果たした、お笑い芸人のひろしをご存知ですか？ソロキャンプ用に関東近辺に山まで購入したそうです。そんな芸人ひろしが、朝のラジオ番組に1週間ゲストとして呼ばれキャンプの話をしていました。彼が好きなのは食材や道具をたくさん持ち込んで一人で過ごすソロキャンプで、中でも一押しは“焚火”だそうです。自宅で過ごす時間が多くなり、デジタル化が進んでいる現代に逆行しているようですが、休日のキャンプ場はいつも盛況なので、彼のチャンネルのフォロワー数が多いのも頷けます。また利便性を追求している現代だからこそ、真逆の生活に惹かれていくのにも理解できます。このキッズ☆ガーデンの年間運営にも春・秋のキャンプをはじめ、多くのアウトドア活動を取り入れています。今年度から改めて『園芸保育』という領域を確立していきたいと考え取り組んでいます。これも、幼児期により多くの自然を常日頃から体感して欲しいという思いからです。慶応義塾幼稚舎長だった加藤三明氏も過去に、「自然に勝る教師はいない。感性、知恵、自己責任の意識を育てる。」と発言しています。全くその通りだと思います。番組最後に「キャンプの魅力を一言でいうと何ですか？」とラジオのパーソナリティーに問われた芸人ひろしは「自然からパワーをもらえることです！」と答えていました。アウトドア活動には子育てのヒントがあると改めて感じました。

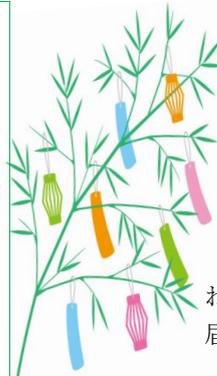
『我が家の子育て④』 齊藤家編 ひのき組

我が家の朝は早い。

両親共に早起きなので、子供達も自然と早起きに。平日の朝の時間は全員が揃う貴重な時間です。忙しい朝ですが、朝食は少し余裕を持って顔を合わせていただきます。短い時間ですが子供たちの日々の変化を感じ取ることができます。

休日も朝の美しい時にサイクリングしたり、朝の美しい音を聞きながらパンケーキを作ったり、時には早朝ピクニックをしたり…朝から家族一緒の時間を楽しんでいます。

我が家にとって早起きは家族のコミュニケーションを取るための大切な習慣なのです。



七夕の願い事

七夕の季節となりました。1階に、くるみ・かりん・ふじ・あじさい組用と2階に、ひのき・けやき組用に笹を設置しました。クラス毎に短冊を配ります。各ご家庭毎に思い思いの願い事を書いて飾ってください♪今年七夕が終わった後に、短冊の願い事が煙と共に天に届くよう、お焚き上げを予定しています。

【7月スケジュール】

- 2 (木) 水遊びスタート
- 7 (火) 誕生会&七夕会
- 9 (木) 避難訓練
- 15 (水) 内科検診
[くるみ・かりん・ふじ・けやき]
- 16 (木) 歯科検診
- 22 (水) 内科検診
[ひのき・あじさい・15日の欠席者]
- [毎週月曜] けやき組課外英語
- [毎週水曜] 保育時間内英語・29日なし
- [毎週金曜] 保育内体操・課外新体操
キッズダンス

*** 園芸保育 *** [6月]

身近にある植物を育て触れ合うことで自然を感じ、第六感並びに、自然と共生する優しい感覚を育むことを目的とします。みんなで楽しみながらお花を育てます！※花育・植育

○朝顔編 ① ひのき組

- 2 (火) 外階段ネット張り
- 3 (水) 種まき
- 4 (木) もう発芽

○ひまわり編 ① けやき組

- 9 (火) 種まき
- 11 (木) 発芽



【編集後記】緊急事態宣言という言葉に慣れてしまったのでしょうか？いざ解除されると安堵の気持ちというよりは、やっと終わってくれたか！とか、ようやく明けたか！といった思いになったのは自分だけでしょうか。時に平和ボケと表現される日本人ですが、普通なら“緊急事態”という表現は、ただならぬ状況のはずです。その“緊急事態宣言”も明け、保育園に子ども達の活気が徐々に戻って来ました。今も、あじさい組から泣き声が聞こえてきます。なんだかホッとします。久しぶりの登園のなので、泣いてしまって当たり前だと思います。また、新入園のお友達や、前年度から在園のお友達も、一から保育園生活に慣れることからのスタートです。先月の園だよりでも触れましたが、まだまだ本能で生きている子ども達にとって、この自粛期間はとて長い時間を感じられたはず。大人のように理性を利かせて気持ちを切り替えることは容易ではありません。元のように出来て当たり前！や、どうして出来ないの?!といった考え方から、出来なくても当たり前。今はまだ出来なくてもいいよ！といった考え方に切り替え、出来ない時には根気よく待ってあげてください。そして、出来たときには、「よく頑張ったね!!」とたくさん褒めてあげてください。園での生活にまた慣れて落ち着きが戻ってくると、今度はこの試練を乗り越えた経験が子ども達をより一層成長させてくれる事と思います。焦らずに通常保育に戻っていきましょう。園長 拝